

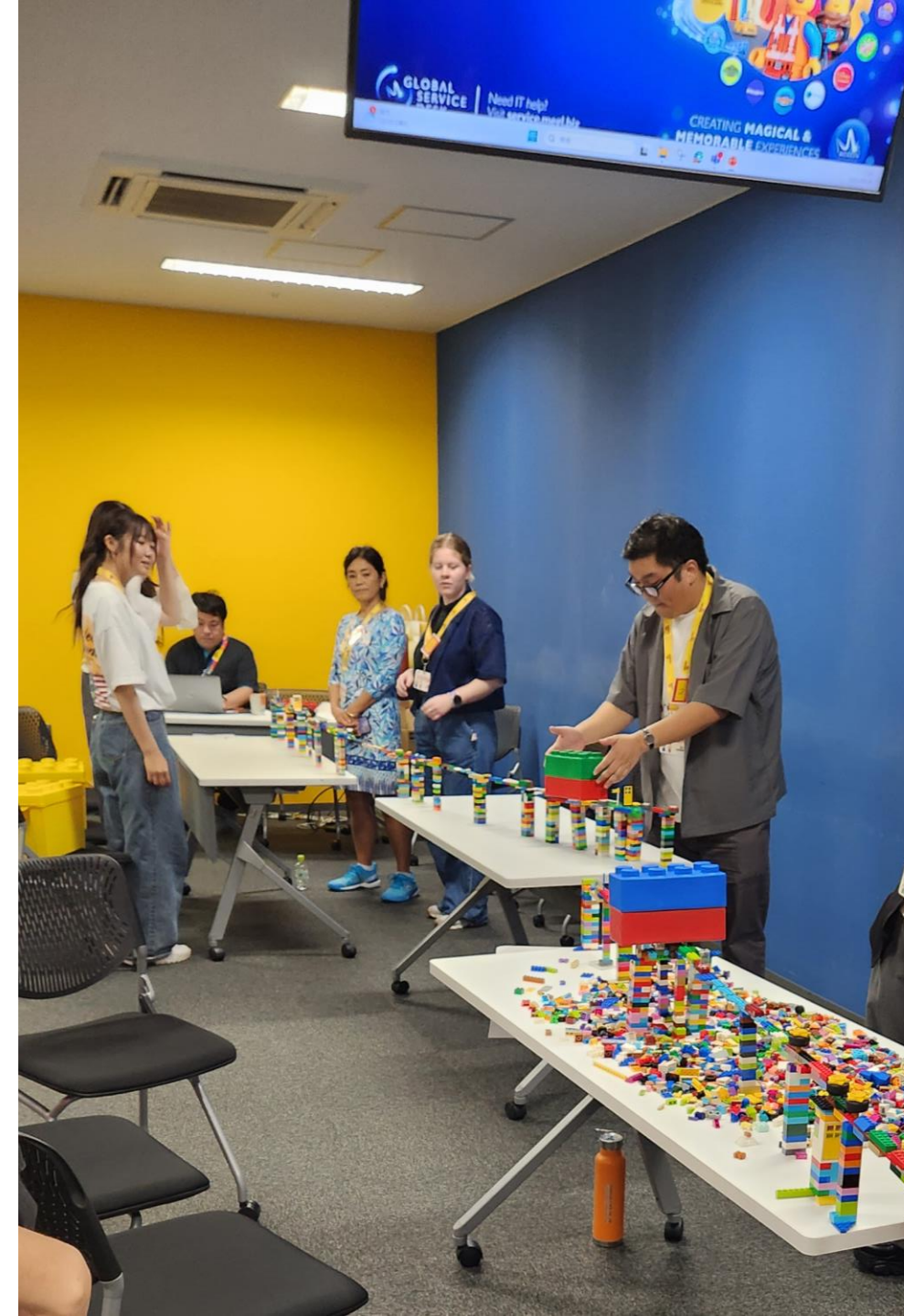
大阪国際大学

2025年度 地域協働センター活動事例報告

地域における 「学び」 ～ フィールドワーク報告～

チーム名 : A: Muse Lab

指導教員 : 五月女 賢司 ・ 杉寄 聡紀
(国際教養学部 国際観光学科)



A: Muse Lab (アミューズ・ラボ) とは

授業の枠を超えて教員・学生が自主的に集まり、地域の文化遺産、博物館、博覧会、テーマパークなどを自分たちの足で巡るフィールドワークを通じて、さまざまな人たちと交流し、美味しいものを食し、見聞を広め、自分たちの頭で考えることで、地域課題の発見・解決の方法を学ぶことを目的に設立された学内グループ

| 2025年度の活動

2025年 9月



LEGOLAND Japan合同会社
フィールドワーク

2026年 3月



フィールドワーク企画
「小さいとこサミット2026」参加
および
博物館に関するポスター発表





FIELDWORK REPORT 01

LEGOLAND Japan 合同会社

特別ワークショップやパークでの体験を通じた地域理解

日程：2025年9月28日（日）

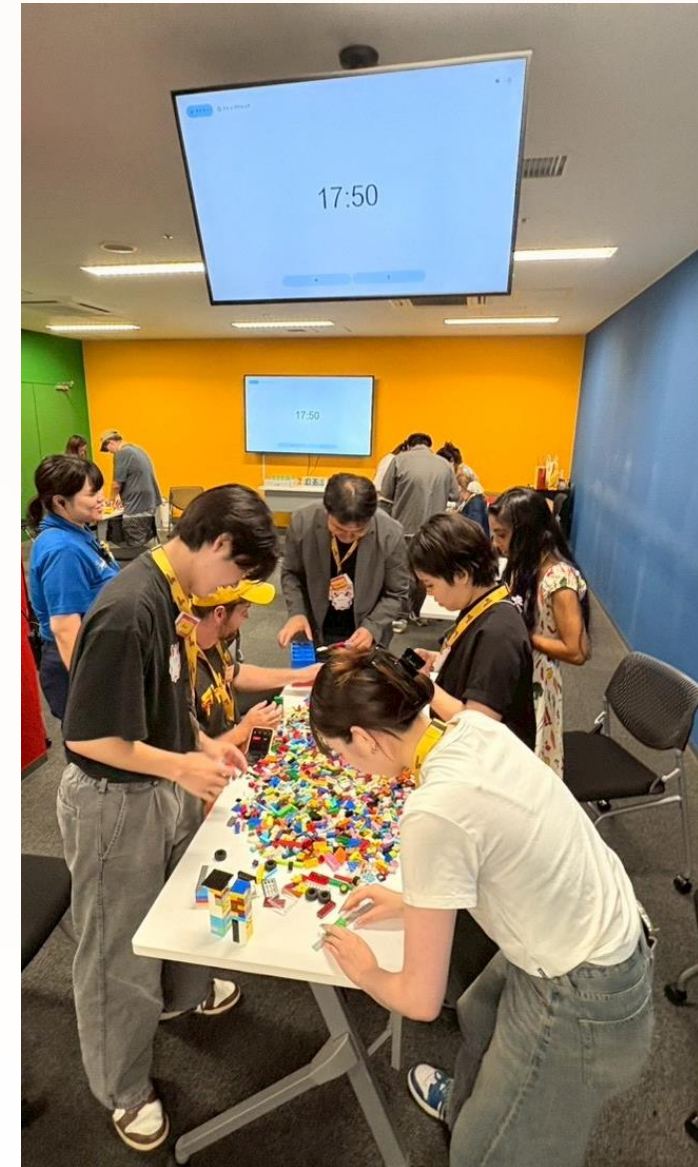
場所：LEGOLAND Japan合同会社（愛知県名古屋市）

内容

レゴブロックを使ったワークショップ（大阪国際大学用のスペシャルプログラム）、パークオープンセレモニー見学を含むパーク見学を、

多摩大学 新西ゼミ有志、大阪・関西万博アメリカ館ユースアンバサダーの皆さん、北海道大学大学院生との合同フィールドワークとして実施し、幅広い交流を実現。

レゴブロックの魅力を知ることはもちろんのこと、コミュニケーション、リーダーシップ、個人の特性を活かすこと、そして諦めずに取り組むことの大切さなどについて学びを深めた。



テーマパークと地域との関わりやキャリア形成についての示唆

セールス&マーケティング部門 アドミニストレーション シニアマネージャー新名氏から
会社概要や業務内容の紹介、キャリア形成についてなど、ご自身の体験に基づいたリアルなお話を伺うことで、
テーマパークの業務理解や社会全体への貢献ならびに、自身のキャリア形成についてのヒントを得る機会となつ
た。





参加者：

・本学学生 9名、多摩大学・北海道大学大学院生・ユースアンバサダー12名、教員他 3名 合計24名



FIELDWORK REPORT 02

小さいとこサミット2026

フィールドワーク企画 「小さいところサミット2026」 参加 および博物館に関するポスター発表

日程：2026年3月1日（土）・2日（日）

場所：和倉温泉（石川県七尾市）

内容

本企画では、小規模ミュージアムの全国ネットワークである「小規模ミュージアムネットワーク」が主催した「小さいところサミット」に参加し、学生が博物館学の視点からポスター発表を行った。2025年度サミットのテーマは、「“祭り”と記憶をつなぐ場所：地域と博物館のこれから」であり、人口減少や災害、コロナ禍などにより継承が困難になりつつある無形文化（祭礼・記憶・語り）と博物館の役割を問い直す内容であった。能登半島地震からの復興途上にある和倉温泉（七尾市）を開催地とする本サミットは、地域の現状を現地で体感しながら、博物館の社会的役割を考える貴重な学習機会となった。

和倉温泉での学びとポスター発表

2026年3月1日（土）

エクスカージョン参加（和倉温泉復興ツアー＋お祭り会館見学）

2026年3月2日（日）

- ・ 小さいとこサミット本会参加
- ・ 学生ポスター発表 「万博の熱狂を日常の記憶へ：ザンビア館における媒介者の実践」

参加者：

学生：3名・教員：1名

合計：4名

活動を振り返って

学内だけでは体験できない学びや、地域社会の方々との交流を通じて気づきを得られることは、この活動の醍醐味であり意義であると考えます。

A: Muse Labの活動地域は大阪府下に留まらず、日本全国です。今後もこの活動を通じて、学生の学びを深めていくことはもちろんのこと、地域社会の理解を通じて地域に貢献できる人材の輩出に尽力できれば幸甚です。

杉寄 聡紀

